

# 換価の猶予申請書の書き方

記入例とあわせて  
ごらんください

## ① 申請年月日

郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記入します。  
持参の場合は、申請書を提出する日を記入します。

## ② 申請者

住所（又は所在地）、日中連絡のつく電話番号、氏名（又は名称）を記入します。  
申請者が法人の場合は、代表取締役印（丸印・会社設立時に法務局に登録した印鑑）を押印します。

## ③ 納付又は納入すべき税等

この申請で、猶予を希望する市税を記入します。

「年度」、「税目」、「期別」、「納期限」、「税額」、「延滞金等」、「通知書番号」を記入します。

記入欄が不足する場合は、別紙に記入し添付してもかまいません。

「税額」及び「延滞金等」につきそれぞれの合計を「A」及び「B」に記入します。

※それぞれの税目の納税通知書などで、記入する内容を確認できます。

## ④ A+B、現在納付可能資金額(C)、換価の猶予を受けようとする額(A+B-C)

「A+B」を計算し記入します。

財産収支状況書又は財産目録に記入した「現在納付可能資金額」の金額を「現在納付可能資金額（C）」に転記します。

「A+B-C」を計算し「換価の猶予を受けようとする額（A+B-C）」に記入します。

## ⑤ 一時に納付（納入）することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の詳細

市税を一時に納付することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情を具体的に記入します。

## ⑥ 換価の猶予を受けようとする期間

「猶予期間の開始日」と「納付（納入）計画の最終日」及びその期間を記入します。

※「猶予期間の開始日」は、通常は申請書を提出する日です。

※「納付（納入）計画の最終日」は、申請書の最下段「納付（納入）計画」に記入する最終回の年月日となります。

## ⑦ 担保

猶予を受けるにあたり、担保を提供する必要がある場合には、担保として提供するものについて記入します。ただし、次の(1)～(3)のいずれかに該当する場合は担保を提供する必要はありません。

(1) 猶予を受ける金額が100万円以下である場合

(2) 猶予を受ける期間が3か月以内である場合

(3) 担保を提供できない特別の事情がある場合

担保を提供する場合はその詳細を、提供できない場合はその事情を記載します。

上記(1)又は(2)に該当する場合は「－」を記入します。

## ⑧ 添付書類

申請書に添付する書類にチェックを入れます。

※猶予を受けようとする金額によって異なります。

## ⑨ 納付（納入）計画

猶予を受けようとする金額について、分割して納付する計画を記入します。

※財産収支状況書に記入した「分割納付計画」又は収支の明細書に記入した「分割納付年月日及び分割納付金額」に記入した年月日及び金額を転記します。



令和〇年3月1日

## 換価の猶予申請書

## 記入例(個人)

申請者

書き方とあわせてごらんください 〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 〇〇 〇〇  
名称

連絡先 0586 ( 〇〇 ) 〇〇〇〇 携帯 090 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇〇〇

地方税法第15条の6第1項の規定により、以下のとおり換価の猶予を申請します。  
当申請にあたり、猶予を受けようとする期間に新たに納期が到来する税については、別に期限内に納付します。

納付又は納入すべき税等	年度	税目	期別	納期限	税額	延滞金等	通知書番号		
	R2	固定資産税・都市計画税	4	R3・3・1	30,000 円	0 円	123456		
	R2	国民健康保険税	8	R3・3・1	20,000 円	0 円	12345678		
				・					
				・					
				・					
合計					A 50,000	B			
④	A+B	50,000 円	現在納付可能資金額 (C)	0 円	換価の猶予を受けようとする額(A+B-C)		50,000 円		
一時に納付(納入)することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の詳細		⑤ 〇〇株式会社に勤務しているが、別居の父が〇〇病を患い、手術・入院費用が急ぎょ発生した。納税資金を取り崩して、治療費に充てる必要が生じた。現在の資金状況では、すべての市税の納付に充てた場合、生活費の捻出が苦しくなり、生活の維持が困難になる。							
換価の猶予を受けようとする期間 ⑥ 令和〇年3月1日から令和〇年6月30日まで 4 月間									
担保	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		⑦ 担保財産の詳細又は提供することができない特別の事情						
添付書類	※猶予を受けようとする金額によって異なります								
	<input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書 ⑧ 下の百万円合以	<input type="checkbox"/> 財産目録 <input type="checkbox"/> 収支の明細書 <input type="checkbox"/> 担保関係書類 の百万円超							
納付(納入)計画	回	年月日	金額(円)	回	年月日	金額(円)	回	年月日	金額(円)
	1	RO・3・31	20,000	5	・		9	・	
	2	RO・4・30	0	6	⑨		10	・	
	3	RO・5・31	13,000	7	・		11	・	
	4	RO・6・30	17,000+延滞金	8	・		12	・	



令和〇年3月1日

## 換価の猶予申請書

## 記入例(法人など)

申請者

書き方とあわせてごらんください 宮市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 〇〇株式会社 代表取締役〇〇〇〇

連絡先 0586 ( 〇〇 ) 〇〇〇〇 携帯 090 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇〇〇



地方税法第15条の6第1項の規定により、以下のとおり換価の猶予を申請します。  
当申請にあたり、猶予を受けようとする期間に新たに納期が到来する税については、別に期限内に納付します。

納付又は納入すべき税等	年度	税目	期別	納期限	税額	延滞金等	通知書番号		
	R2	固定資産税・都市計画税	4	R3・3・1	50,000 円	0 円	123456		
	R2	法人市民税	確定	R3・3・1	350,000 円	0 円			
				・					
				・					
				・					
合計					A 400,000	B			
4	A+B	400,000 円	現在納付可能資金額 (C)	0 円	換価の猶予を受けようとする額(A+B-C)		400,000 円		
一時に納付(納入)することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の詳細		5 〇〇株式会社の下請けで住宅家屋の建設を行っているが、単価の引き下げ等により売り上げが前年度に比べ65%まで落ち込んでおり、仕先先である△△株式会社への支払いも遅れがちである。 〇〇株式会社からの入金すべて市税の納付に充てた場合、△△株式会社に対する支払いができなくなる。今後、仕入れができなくなると、事業継続が困難になる。							
換価の猶予を受けようとする期間 6 令和〇年3月1日から 令和〇年10月31日まで 8 月間									
担保	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	7 担保財産の詳細又は提供することができない特別の事情							
添付書類	※猶予を受けようとする金額によって異なります								
	<input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書	8				<input type="checkbox"/> 財産目録 <input type="checkbox"/> 収支の明細書 <input type="checkbox"/> 担保関係書類			
納付(納入)計画	回	年月日	金額(円)	回	年月日	金額(円)	回	年月日	金額(円)
	1	RO・3・31	75,000	5	RO・7・31	15,000	9	・	
	2	RO・4・30	15,000	6	RO・8・31	75,000	10	9	
	3	RO・5・31	25,000	7	RO・9・30	75,000	11	・	
	4	RO・6・30	125,000	8	RO・10・31	15,000+延滞金	12	・	